

説教のポイント

主がいやされると

マタイ二・二三〜二八
イザヤ三五 三〜六

「レッテル貼り」という言葉があります。人のイメージを損なう目的で印象操作するもので、テレビなどでも見受けられます。最近では豊洲市場問題や、豊中の学校問題など、事柄をよく吟味せず、印象だけでものをいい、結局、げんなりした後味の悪さだけ残るような…。

今日のイエスも、病気の人を助けた後、悪霊の頭力で悪霊を追い出した」と批難されます。当時病気は悪霊の仕業と考えられていたため、ただでさえ苦しい病人が、社会的にも差別された。その人を助けたイエスも悪霊呼ばわり。レッテル貼りの連鎖です。

そもそも、イエスは悪霊を追い出したのでしようか。病人が連れて来られ、イエスがいやされると…病気が治った、と書かれているだけ。勇ましい悪霊退治の情景などまったくなく、ただ「いやされた」と。

「やす」とは何でしょう。病気が治ること？ それだけではない。悪霊退治？ それも二の次では何？ イエスは言います。

神の国があなたたちの所に来ているのだ」
(二八節)。あなたは今、神と共に立っている！ その事実が「やす」です。周囲がどう評価しよう、どんなレッテルを貼ろうと、神があなたと共に立っている。あなたのことを誰よりも知っている神が、神の目にあなたは価値高く、貴い「イザヤ四三・四」と言ってください。その言葉を聞いて、私たちは心からいやされます。